千葉県議会議員〈我孫子市選出・無所属〉会派「千翔会」代表

ブログ https://ameblo.jp/yuukimizuno/

ゆう Can Change! Facebook 水野友貴

twitter @yuukitten

6月定例千葉県議会において、水野ゆうきは会派「千翔会」を代表し、県執行部に 対し合計13項目39問の代表質問を行いました。

【水野ゆうきの代表質問項目】

- ①知事の政策方針 ②スマート県庁への転換 ③新型コロナ対策 ④教育
- ⑤湖沼の環境保全 ⑥洋上風力発電の産業化 ⑦防災対策 ⑧地域の安全対策
- ⑧道路問題 ⑨高齢者福祉 ⑩児童福祉 ⑫農林水産業 ⑬農福連携



今後の『けやきプラザ』〜県と市で継続協議へ〜

【水野】 千葉県と我孫子市の共用施設である福祉ふれあいプラザ(けやきプラザ)の 1 階で運営されている 我孫子行政サービスセンターでは、平成28年度より千葉県から事務移譲された旅券発行事務(パスポ ート対応窓口)を開始したことに伴い、執務スペースが不足し、一時的に記載台を設置し、何とか業務 が行われている状況。

このような状況を解決するため、我孫子市は1階の一部移譲を千葉県に要望しており、現在も県と市 の協議が続いている。狭隘な執務スペースの解消のため、1階部分の有効活用を県としても検討すべき。

【熊谷知事】 施設管理や運営について、これまでも県と我孫子市の間で継続的に協議を行ってきた。 今後の 施設のあり方については、利用状況や県と市の役割分担を踏まえ、我孫子市の意見も十分に聴きなが ら検討する。



我孫子市と継続協議をし、一番良い形の着地点を見つけていただきたい。けやきプラザに関わらず、時代 の流れとともに役割や用途が確実に変化しつつあるハコモノについて、あり方を再考していく必要がある。



熊谷知事、けやきプラザ視察

手賀沼の環境保全 ~水質改善に向けた新しい取り組み~

外来水生植物対策、管理されていない植物とゴミ問題が混在

現状: 水野ゆうきは予算要望や議会にて手賀沼に繁茂する外来水生植物のナガエツルノゲイトウとオオバナミズキンバイ対策に ついて県に継続して働きかけを行っており、今年度も外来水生植物対策費として1億27,744千円が計上。今年度は4月 から10月の間に主に柏市側約1万8千㎡を駆除する予定であり、それにより繁茂面積の約45%の駆除を終えることにな る。現在のペースで駆除を進めた場合、令和10年度を目途に完了する予定。また、市民団体が外来水生植物を駆除す る活動の経費に助成を行う防除事業補助金を新規事業として創設。

課題:強力な拡大力と再生力を特徴とするナガエツルノゲイトウとオオバナミズキンバイは刈り残した根や茎の断片からも植物体 が再生し、水流によって、すでに駆除した場所や新たな地で定着・再生してしまい、駆除には長期戦が見込まれる。さらに、 沼の中に大量のゴミが散乱しており、外来水生植物にも自生している水生植物にも大量のゴミが絡んでいる状況。

【水野ゆうきの質問と要望】

- ●市民団体による外来水生植物の防除について、 団体への補助等を通じ、今後の防除にどう取り 組んでいくのか?
- ●管理されていないヨシをはじめとする自生してい る植物が放置され、外来水生植物やゴミと混在 している状況。手賀沼に広く自生しているヨシな どが水質にどのような影響を及ぼしていると認 識しているのか? 水質改善に向けて、自生する 水生植物の管理について検討すべき!
- ■ゴミは市民団体の協力が必要不可欠である。手 賀沼での市民団体が行っている清掃活動への支 援内容を柔軟にするべき!

【千葉県答弁要旨】

- ●今後、市民団体には補助の活用により、県が駆除 を行った後のモニタリングや再繁茂箇所の刈取り などを行っていただき、連携を深めて取り組む。
- ●手賀沼で自生している水生植物が水質に与える具 体的な影響について、今後、国や他県などの事例 について情報収集に努めるとともに対策の必要性 を検討し、適切な管理に努める。
- より多くの皆様に手賀沼の河川美化活動に参加し ていただけるよう、県の「河川海岸アダプトプロ グラム」の普及啓発を図り、各団体が普段行って いるボランティア活動の実情を詳しく伺いながら、 支援内容を検討する。



星野市長とともに熊谷知事に現状を説明

いるゴミの現状



『スマート県庁』への転換 に舵を切ります!

昨年、熊谷知事にとって初めての定例会における水野ゆうきの代表質問に対し、熊谷知事は県庁の課題として『<mark>県庁におけるデジタル化の遅れ</mark>』を挙げました。 その後、熊谷知事は千葉県行財政改革計画を策定し、目指す県庁の姿として「**スマートで機能的な県庁**」を明記しました。県庁内の業務効率化を推し進めていく と同時に、職員の働き方改革や意欲を引き出し、県民がデジタルの活用によって一人一人のニーズに合ったサービスを選ぶことができるデジタル社会の構築を目指し、 また誰一人取り残されない県政運営をしていくことが重要だと水野ゆうきは考えます。



水野ゆうきが提案した新しい職員提案制度が創設されました!

【水野】 これまでの千葉県における職員提案制度は、日常的な業務改善が中心であり、千葉県では新しい政策提案はゼロ! コロナ禍において民間では新たな 取り組みや価値が創造されている中、行政においてもこれまで以上にスピード感のある施策の推進や行政運営の効率化等が求められている。職員が 新しいことにチャレンジできる提案しやすい制度設計にし、現行制度を改善すべき!

【熊谷知事】新たな職員提案制度を創設し、運用を開始。新制度は人材の育成を図るために、職員からの提案を奨励し、政策の検討の場に参画することで、職員が個々 の能力や意欲を最大限に発揮し、活躍できる仕組みとして整備。職員の能力や意欲の向上はもとより、提案された新しい視点から関係課が主体的に 取り組むことや、新しい施策による県民サービスの向上といった効果を期待しており、更には組織の活性化にもつなげていきたい。

県庁のデジタル化推進に向けた体制整備

●行政手続きのデジタル化

目線できめ細かく対応していくことによって、誰もが、 いつでも、どこでも、デジタル化の恩恵を享受できるよ うに取り組んでいく必要がある。県として具体的に行政 手続きのデジタル化にどのように取組んでいくのか。

ついて、オンライン申請様式の作成や業務フローの見直 しを集中的に実施し、今後3年間でオンライン化を図る。

●デジタル人材の育成と確保

【水野】県民の多種多様な環境やニーズ等を踏まえてユーザー ・ 【水野】県では総務部に「デジタル改革推進局」を新設し、局には「デジタル戦略課」と「デジ タル推進課」を新設、「情報システム課」と併せて3課体制を整備。 行政のデジタル化を 推進していくためには最新のデジタル技術やIT知識に精通した人材を積極的に確保し、 育成することは必要不可欠。デジタル化に対応できる職員の人材育成・スキル向上にど のように取り組んでいくのか。

【熊谷知事】今年度から申請件数が多い約600の行政手続に ● 【熊谷知事】スマート県庁への転換を進めるためには、研修の一層の充実を図る必要がある。 今年度は、より専門的な知識を習得するための研修により、県庁のDXを支える人材を 育成し、行政手続きのオンライン化に向けた研修などで職員のスキル向上を図っていく。

高齢者施策 ~特別養護老人ホームと介護人材確保~

現状と課題:千葉県における65歳以上の高齢者人口は令和2年で過去最高の170万8千人で高齢化率は27%。75歳以上は令和7年には平成27年の 約1. 5倍の107万2千人になると見込まれており、介護需要の伸びに受け皿が機能しきれていない状況が続いている。千葉県では2025 年には約7.100人の介護人材が不足すると推計されており、特別養護老人ホームについては申し込みから入所まで数年待つケースもある。

【水野】特別養護老人ホームの入所待機者数及び整備の状況はどうか。介護人材の確保にどの様に取り組んでいるのか。

【滝川副知事】千葉県における特別養護老人ホームの入所待機者数は、令和4年1月1日現在、1万 2.060人で前年同時期と比較して559人減少。特別養護老人 ホームについては、令和3年度からの今期計画では初年度に、1.353床を整備し、令和3年度末の定員数は累計で2万 9.798床。 県では、特別養護老 人ホームの1床当たりの補助単価を全国上位の450万円とし、市町村と連携しながら計画的な整備に努めていく。介護人材の確保については、若年層、 高齢者、外国人などの多様な人材の介護分野への就業促進や、事業者と求職者とのマッチング、職員のキャリアアップ支援などの対策に加え、今年度は 新たに、児童・生徒や保護者等へ介護職の魅力の理解促進を図るため介護現場等の映像を作成し学校等で活用するとともに、働き方改革のため介護 現場の業務改善を図るコンサルタントの派遣など幅広い取り組みを進める。

~千葉県留学生受け入れプログラムの現状を視察~

千葉県留学生受け入れプログラムとは、ベトナム留学生と現地日本語学校、県内日本語学校、介護福祉士養成施設、受入先となる介護施設のマッチングを行い、 留学生の学費等の負担に対して、県内の介護施設等が助成を行い、県はその一部を補助するという制度です。外国人を受け入れる様々なルートがある中で、実際 に千葉県留学生受け入れプログラムを活用している介護施設及び介護福祉士養成施設を視察し、留学生に行き届いた支援・フォローができるのも千葉県の制度が あるからこそだと実感しました。千葉県独自のプログラムが施設及び学校側から好評であることも踏まえ、事業の継続と必要性を要望!県は本制度の継続を表明し、 すぐに第4期生の募集を開始。

≪水野ゆうきの要望≫

福井県では職員がタイに行き、戸別訪問して介護職の勧誘を行うなど、各自治体が外国人介護人材の確保に力を入れている。ベトナムが 経済成長をしていく中で、世界情勢を鑑み、職員が現地視察をしてベトナム以外の国を開拓していくことも視野に入れるべき。



介護福祉士養成施設の留学生クラス



県の制度活用している我孫子市内の介護施設

時代の変化に伴う教育のあり方

教師不足問題

【水野】新年度がスタートする始業式や入学式に、本来配置するべき教員が配置 されていない学校が東葛飾教育事務所管内で多数発生しており、欠員 が生じている学校の教職員は勤務時間外での業務が生じ、県教育委員 会が推進している働き方改革に逆行している。

千葉県における昨年5月1日時点の未配置は小中学校あわせて124人で、 今年は184人と未配置が増えている状況であり、現場からは早期改善を 望む声が寄せられている。県としても昨年度より未配置が増加している 原因を分析し、教師不足を解消していくことは喫緊の課題である。教師 不足の状況を解消するための新たな解決策をどのように考えているのか。 また、現在の未配置状況を早期に解決する手立てはあるのか。

- ●未配置の原因としては、教員志願者の減少や産休・育休代替講師の必要数の増 加等が挙げられる。県教育委員会では、職業選択の早い段階から教員を志して もらえるよう今年度からは大学の新入生を対象とした特別講座を新たに開始。
- ●退職者に個別に電話連絡をして再任用や講師登録を依頼するほか、市町村教育 委員会と連携した講師登録説明会を県内各地で開催し、一人でも多くの人材を 確保するよう努めていく。
- ●7月からの教員免許更新制の廃止に伴い、免許が失効した方や免許を持ちなが ら教職に就いていない方も任用し易くなることから、広報誌やSNS等により制度 の改正を広く周知し、講師登録者の増加を図るなど、未配置の解消に取り組む。
- ●国から措置される加配定数について配置や活用条件を付けることなく、多様な働き方を選択して柔軟な活用ができるよう、

- ≪水野ゆうきの要望≫ 制度の見直しについて国に働きかけを! ➡熊谷知事、関東地方知事会にて要望
 - ●欠員状況の多い教育事務所管内からの県教育委員会への出向者数を減らすなど、現場を手厚くするよう要望する。

部活動改革~部活動の地域移行~

スポーツ庁の有識者会議「運動部活動の地域移行に関する検討会議」は2023年度から3年間で運動部活動の実施主体を学校から地域へ移すことに関する 提言案を大筋で固めました。将来的には平日活動の移行も推奨するとしています。地域移行の背景として教員の負担軽減に加え、少子化で学校単位のスポーツ の場の確保が難しくなってきたことがあげられており、これまでも外部人材を部活動指導員として派遣したり、民間クラブとの連携を進めてきたケースは多々ある ものの、今度は部活動が地域に出向く形となることから、日本のスポーツが主に学校の中で発展してきた歴史を踏まえると大きな転換を迎えることとなります。 また、課題として指導者の確保や新たな資格の整備、外部委託した際の費用負担などが挙げられています。

水野ゆうきはスポーツ庁が提言した運動部活動の地域移行について、千葉県の今後の方針と展開について質疑を行い、都市部と郡部の地域間格差が指摘さ れていることからも、既にわかっている課題等については早めに市町村教育委員会と情報共有するよう要望しました。

【千葉県における運動部活動の地域移行の方針】

- ●運動部活動は教員の長時間勤務の要因ともなっており、県教育委員会では、公立中学校における土日の部活動の地域 移行を段階的に進めている。
- ●現在、土日の運動部活動の指導を教員に代わって地域の指導者が行う国のモデル事業を柏市など4市町で実施。そこ で得られる成果と課題を他の市町村に情報提供するとともに、市町村における地域部活動の推進組織の設置を促す。
- ●教員に代わる指導者の確保や費用負担など地域移行に伴う課題の解決に向けて、スポーツ関係団体等と検討を進めて いるところであり、それらの協力を得ながら、市町村の取組が着実に進むよう支援していく。

学校教育活動と感染症対策の両立~情操教育の充実~

新型コロナの長期化により、子どもたちは様々な活動の機会が失われていると同時に、次々に大きな感染拡大の波が来ては、その都度、学校においても 厳しい対応を迫られています。千葉県教育委員会は4月15日に各県立学校及び各市町村教育委員会宛てに、学校教育における児童生徒の貴重な活動機会 を確保する観点から、様々な活動を制限するのではなく、段階的に本来の活動を取り戻していくことが重要である旨を通知しました。

【水野】児童生徒の学校教育活動について制限緩和が図られているが、感染症対策とどのように両立させていくのか。

- 【富塚教育長】感染症の影響が長期化する中で、児童生徒に心身の不調等が見られるとともに学校行事などの機会が失われてきたため、県教育委員会では、 国の衛生管理マニュアルの範囲の中で、これまで控えてきたグループ学習や校外学習など、児童生徒の活動機会を確保し工夫しながら、できるだけ 多様な体験ができるよう、通知によりその再開を促した。今後も基本的な感染症対策を徹底しつつ、地域や学校の実情にも配慮しながら、感染リ スクの低減と学校教育活動との両立を図っていく。
- 【水野】新型コロナの拡大以来、行事は軒並み中止となり、校歌を歌うことなどもままならず学校の教育活動は大きく制限を受けた。マスク生活の長期化も あり、創造性、コミュニケーション能力、協調性などの豊かな心をはぐくむための様々な教育活動が不足し、子どもたちの情操面の育成が懸念される。 新型コロナが長期化する中で、児童生徒の情操教育に取り組むべきだと思うがどうか。
- 【富塚教育長】段階的に本来の活動を取り戻すことの重要性を県立学校や市町村教育委員会に示したところであり、各学校において、感染対策を徹底しつつ、 児童生徒の豊かな情操を育成するための多様な活動を実施していただきたいと考えている。

今年度から開始した高等学校における金融教育

改訂された新学習指導要領では、「家庭科」の中で預貯金や株式・債券などの基本的な金融商品の特徴、資産形成の視点も教えることとされ、22年度入学の 生徒から「公民科」の新科目「公共」において、基礎的な金融経済の仕組みについての授業がスタートし、金融の役割や企業の資金調達のしくみなどお金がどの ように社会の中で動いているかという観点で学ぶこととしています。水野ゆうきは学校教育における金融教育の課題等について県教育委員会に質疑を行いました。

【水野ゆうきが指摘する金融教育におけるポイントと課題】

- ●成年年齢引下げにより、18歳から親の同意なしでクレジットカードや住宅ローンの契 約など金融に関する様々な契約を自ら行えるようになり、若い世代が詐欺やトラブル に巻き込まれる危険性が高まっている。
- ●フィンテックの進展により登場した新たな金融サービスについての知識も身に着けてい かなくてはならず、教える側も常にその知識をアップデートしていかなくてはならない。
- ●現場の教師側の知識や考え方に偏り等があることが専門家から指摘をされており、 教員の養成段階において金融教育について学ぶ機会を充実させるなど、教員の支援 体制の構築に務める必要性がある。

【県教育委員会の対応】

- ●成年年齢引き下げにより、特に高等学校において、最新の金融構造と その働きや契約の重要性と消費者保護の仕組みなどについて学ぶ重 要性が高まっているため、各高校では消費者トラブルなどの身近な事 例を取り上げて、生徒自らが考えを深める授業の工夫を行っている。
- ●教員の指導力の向上を図るため、教員研修において、ファイナンシャル プランナーを講師としたワークショップなどの実践的な講習や先進的 な授業の事例共有などを行い、金融関係団体の協力も得ながら金融 に関する教育の充実を図る。

地域の安全対策

横断歩道等の白線の塗り直し

水野ゆうきは代表質問にて、横断歩道等の塗り直しについて 質疑を行い、通学路等においても白線が消えかかっている箇所 の補修に時間を要している実態を指摘。地域住民が市などに早 急な対応を要望している状況を踏まえ、横断歩道などの塗り直し については、市町村の要望を優先して行うよう、要望しました。

現在、地域住民等からご要望をいただいている箇所については星野市長とともに熊谷知事に直接要望するとともに、県警と協議をしながら随時補修を進めています。また、水野ゆうきは現場確認を必ず行い、市民の皆様にわかりやすくお伝えしています。



久寺家 1 丁目横断歩道



我孫子北近隣センター並木本館前構断歩道



我孫子市立第四小学校・白山中学校前

相次ぐガードレールの盗難

※ガードレールの盗難を発見したら、 すぐに警察へご連絡をお願い致します。

昨年12月以降、十葉県内各地の市道などで少なくとも200枚以上のカードレールが盗まれており、その背景としてコロナの影響で解体工事が遅れるなどして鉄の廃材量が減り、鉄スクラップの価格が高騰していることが原因とされています。県が管理する道路では、我孫子市で1月25日に盗難が確認されてから、印西市や佐倉市で同様の被害が次々と判明しています。

昨年12月以降、千葉県内各地の市道などで少なくとも200枚以上のガードレー 【水 野】県管理道路におけるガードレールの盗難対策は?

【千葉県】被害の発生を受け、県では盗難の発生した箇所を中心に道路パトロール を強化したほか、ガードレールをより取り外しにくいナットで固定するなど 対策を講じていく。

残土埋立事業の変更

昨年7月に静岡県熱海市で発生した土石流災害を踏まえ、違法に造成された盛り土を全国一律で規制するため、<mark>盛土規制法が成立</mark>。千葉県における残土条例では、 残土埋め立て事業の許可にあたっては計画書の概要等をあらかじめ周辺住民に説明するよう指導しているものの、運搬や埋め立て等の事業が進むにつれ、地域住民が 知らない間に、当初県が許可した内容が変更されるケースがあり、変更された内容について住民への説明が不十分なこともあり、不安を感じている住民も少なくありません。 【水 野】残土埋立事業において、当初の許可内容が変更される場合、県としてどのような対応を行っているのか。

【千葉県】事業者が県の残土条例の許可を受けた後に盛土の区域や構造の変更や許可土量の増加などを行う場合、事業者に対し、変更許可を受けるよう義務付けており、 盛土の安全性等に問題がないかを厳格に審査するとともに、 指導指針に基づいて住民説明会の開催や関係市町村長への説明を求めている。

盛土の安全性に影響を及ぼさないような許可土量の減少、排水施設の機能向上を行った場合や、発生元の変更があった場合などには、遅滞なく届け出るよう義務付けており、その内容が適切かどうかを書面審査や必要に応じて関係者への聴き取りなどを通じて確認する。

【水 野】許可が不要の場合でも、周辺の住民の方々の生活環境には十分配慮すべきであり、軽微として扱われる変更であっても、地域住民にとっては軽微ではないこともある。例えば、ダンプカーの通行が地域住民に説明した内容とは異なり、倍以上走行していたり、騒音や振動に悩まされているという声も聞く。ダンプカーの通行台数を増加する変更が行われることによって、地域住民の生活環境に影響が及ぶと考えられるが、県はどのように対応しているのか。

【千葉県】県から事業者に対し、地域住民の生活環境への影響を考慮し、必要に応じて住民説明を行うよう求めている。埋立て状況を確認する立入検査等の際に、ダンプカーの通行対策が適切に実施されているかを適宜、確認している。

新型コロナウイルス感染症 ~後遺症対策の充実を!~

後遺症の悩みや不安を抱える患者に対する診療とケアの手順が国内では標準化されていないことから、医療者側も後遺症に関する適切な診療ができなかったり、あるいは患者自身が後遺症とは思わず、医療機関を求めて転々とするケースが生じています。

【水野】 新型コロナウイルス感染症の後遺症に悩んでいる県民について県の対応は? また、後遺症に関する症状や相談体制等について、積極的な広報・周知を行うべき。

【千葉県の対応】

- ●医療関係者向け→後遺症に関する研修会を開催し、その内容を動画配信して広く知見の 共有を図る。
- ●県民向け→発生届が提出された感染者にショートメッセージを送り、療養に必要な情報と併せて後遺症の代表的な症状や最新の知見等に関する県ホームページを案内する。
- ●相談体制→県医師会と連携し、かかりつけ医や感染症の診断を行った医療機関が治療後の長期的なフォローアップも含め、後遺症に悩む方々を診療していく体制を構築する。 後遺症に関し、かかりつけ医等からの相談や患者紹介に対応する専門的な医療機関を増やす取組を進め、これらの医療機関のリストをかかりつけ医等に提供していく。

~コロナ後遺症にお悩みの方へ~

罹患後症状と思われる症状について相談したいこと等がある方は、まずは**かかりつけ医や新型コロナウイルス感染症の診断を受けた 医療機関、または最寄りの保健所**へお問い合わせください。**我孫子市民の皆様は松戸保健所(電話:047-361-2121**)となります。 後遺症の主な症状:せき、倦怠感、思考力低下・筋力低下など

コロナ後遺症は長期化傾向も問題になっています。感染時は軽症であっても寝たきりになったり、ぜんそくのような症状が出たりする こともあります。不安を感じたらすぐに医療機関もしくは保健所にご相談ください。

水野ゆうき 主な役職

○千葉県議会議員(無所属系会派「千翔会」代表)県土整備常任委員会委員

【所属議員連盟】スポーツ振興議員連盟幹事/地震・津波対策議員連盟幹事/動物愛護議員連盟監事/フリースクール等教育機会確保議員連盟幹事/空き家・空き地対策推進議員連盟/観光立県推進議員連盟/拉致問題早期解決の支援に関する議員連盟

○千葉県立我孫子・湖北特別支援学校後援会顧問、手賀沼水環境保全協議会顧問、一般国道356号整備促進期成同盟顧問、千葉県環境審議会(水環境部門)委員、松戸健康福祉センター運営協議会委員、我孫子ライオンズクラブ元会長など



水野ゆうき プロフィール

1983年2月19日生の39歳。我孫子市生まれ・育ち・在住。我孫子市立第四小学校入学、米国ロサンゼルス現地校編入、ロサンゼルスインターナショナルスクール編入、帰国後は茨城県私立茗渓学園中学校編入、同校高校卒。津田塾大学学芸学部国際関係学科卒。大手物流会社に入社し約3年間役員秘書として勤務後、民放テレビ局勤務(BS フジ『PRIME NEWS』担当)。2011年我孫子市議会議員選挙当選。2015年千葉県議会議員選挙初当選。2019年2期目当選。

水野ゆうきへのご意見・応援メッセージは 公式ホームページまで https://mizunoyuuki.com/



発行:水野友貴 〒 270-1154 千葉県我孫子市白山 3-6-5 TEL.04-7100-0068